



## 令和元年海面漁業・養殖業生産統計（概数） （北海道）

－ 海面漁業・養殖業生産量は、前年に比べて3.9%減少 －

### 【調査結果の概要】

- 1 令和元年の北海道における海面漁業・養殖業生産量は95万6,200tで、前年に比べて3万8,900t（3.9%）減少した。
- 2 海面漁業の漁獲量は88万2,300tで、さんま等が減少したものの、ほたてがい、すけとうだらが増加したことから、前年に比べて5,700t（0.7%）増加した。
- 3 海面養殖業の収穫量は7万3,900tで、ほたてがいが大幅に減少したことから、前年に比べて4万4,600t（37.6%）減少した。
- 4 海面漁業・養殖業生産量に占める魚種別の構成割合は、ほたてがいが40%と最も多く、次いで、すけとうだら、こんぶ類、さけ類、まだらの順となっており、この5魚種で全体の71%を占めている。

図1 海面漁業・養殖業生産量の魚種別構成割合

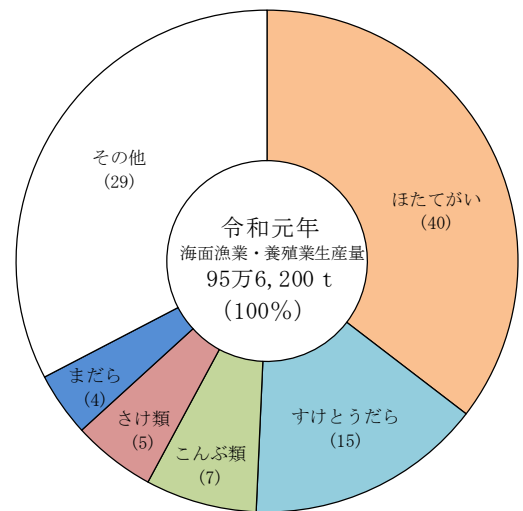


表 海面漁業・養殖業生産量（北海道）

区分	平成30年	令和元年	対前年差	対前年比
	100t	100t	100t	%
海面漁業・養殖業生産量	9,951	9,562	△ 389	96.1
海面漁業漁獲量	8,766	8,823	57	100.7
海面養殖業収穫量	1,185	739	△ 446	62.4

注：表中の「△」は、負数又は減少したものを表す。

この統計調査結果は、北海道農政事務所ホームページの中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html> 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 水産基本計画における水産物の自給率目標を策定する際の資料
- ・ 漁獲可能量（TAC）を設定する際の基礎資料

1 主要漁業・養殖業種類別生産量の推移（北海道）

単位：100 t

年次	海面漁業計							海面養殖業計
	小型底びき網	沖合底びき網	さけ定置網	その他の刺網	さんま棒受網	沿岸いか釣		
平成22年	12,629	3,394	2,181	1,466	1,292	1,070	272	1,419
23	11,804	3,150	2,133	1,400	1,211	1,133	339	1,135
24	11,411	3,263	2,054	1,231	1,066	1,141	262	1,340
25	11,412	3,573	1,980	1,425	1,192	712	296	1,387
26	11,039	3,682	1,607	1,174	1,060	1,095	255	1,385
27	8,644	2,429	1,552	1,166	952	523	187	1,661
28	7,499	2,222	1,287	886	777	513	94	1,113
29	7,389	2,439	1,334	591	857	391	105	824
30	8,766	3,143	1,470	765	859	610	83	1,185
令和元(概数)	8,823	3,493	1,641	619	898	190	60	739

資料：農林水産省統計部「漁業養殖業生産統計年報」（以下の統計表において同じ。）

2 海面漁業・養殖業主要魚種別生産量の推移（北海道）

単位：100 t

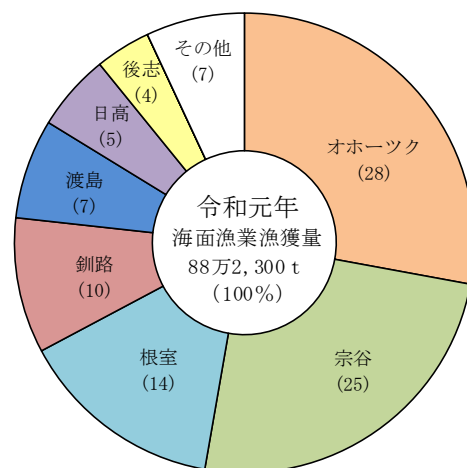
年次	ほたてがい	海面養殖業	すけとうだら	さけ類	こんぶ類	海面養殖業	さんま	まだら	たこ類	かれい類	ほっけ	するめいか
平成22年	4,365	1,103	2,276	1,337	980	271	1,078	230	202	197	824	721
23	3,870	844	2,285	1,193	841	249	1,140	279	179	222	612	972
24	4,191	1,040	2,079	1,127	948	262	1,156	281	181	228	679	546
25	4,553	1,089	2,074	1,349	787	250	710	290	161	224	520	730
26	4,665	1,087	1,755	1,185	888	245	1,086	241	186	206	282	586
27	3,673	1,352	1,672	1,171	882	236	521	211	182	190	170	399
28	2,944	825	1,219	823	768	203	512	231	225	206	172	172
29	2,824	484	1,213	557	668	239	391	316	210	252	177	167
30	3,885	849	1,237	677	772	244	611	372	245	211	326	139
令和元(概数)	3,780	394	1,461	512	686	239	191	395	234	236	328	125

## 【調査結果】

### 1 海面漁業

(1) 漁獲量の地域別構成割合は、オホーツク地域が28%と最も多く、次いで、宗谷地域、根室地域、釧路地域の順となっており、この4地域で全体の77%を占めている。

図2 海面漁業漁獲量の地域別構成割合



(2) 漁獲量の多い上位5魚種（ほたてがい、すけとうだら、さけ類、こんぶ類及びまだら）の動向をみると、次のとおりである。

ア ほたてがいは33万8,600 tで、オホーツク地域等で増加したことから、前年に比べて3万5,000 t (11.5%) 増加した。

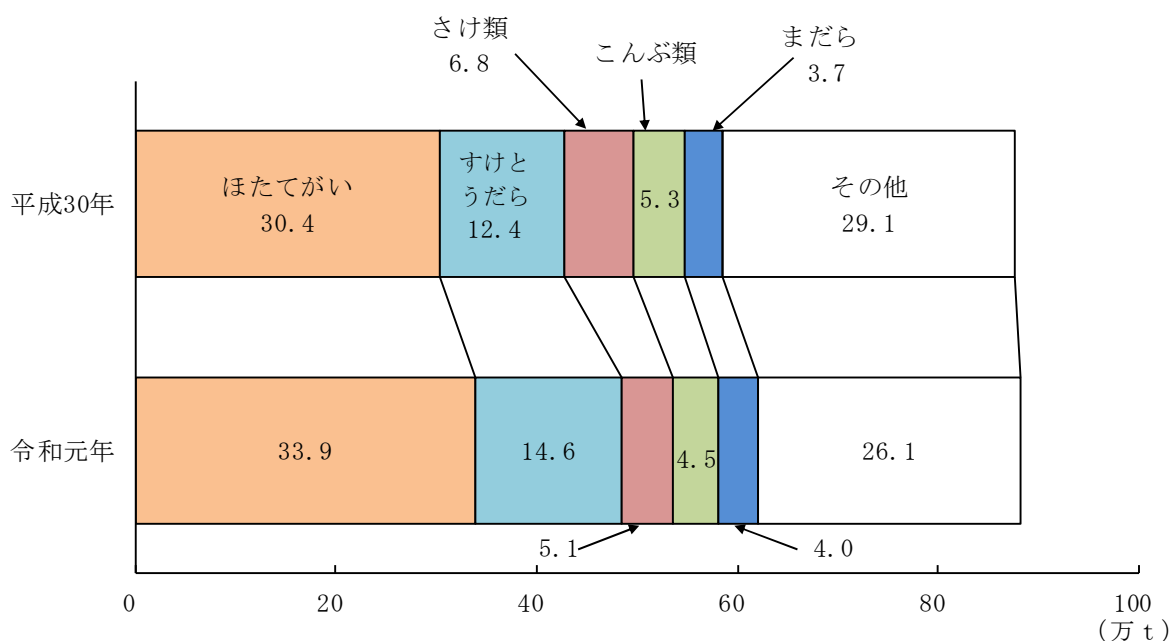
イ すけとうだらは14万6,100 tで、宗谷、オホーツク地域等で増加したことから、前年に比べて2万2,400 t (18.1%) 増加した。

ウ さけ類は5万1,200 tで、オホーツク、日高地域等で減少したことから、前年に比べて1万6,500 t (24.4%) 減少した。

エ こんぶ類は4万4,700 tで、釧路、根室地域等で減少したことから、前年に比べて8,100 t (15.3%) 減少した。

オ まだらは3万9,500 tで、宗谷、後志地域等で増加したことから、前年に比べて2,300 t (6.2%) 増加した。

図3 海面漁業魚種別漁獲量



## 2 海面養殖業

(1) 収穫量の魚種別構成割合は、ほたてがいが53%と最も多く、次いで、こんぶ類、かき類の順となっており、この3魚種で全体の91%を占めている。

(2) 主な魚種別収穫量の動向は、次のとおりである。

ア ほたてがいは3万9,400 tで、前年に比べて4万5,500 t (53.6%) 減少した。

イ こんぶ類は2万3,900 tで、前年に比べて500 t (2.0%) 減少した。

図4 海面養殖業収穫量の魚種別構成割合

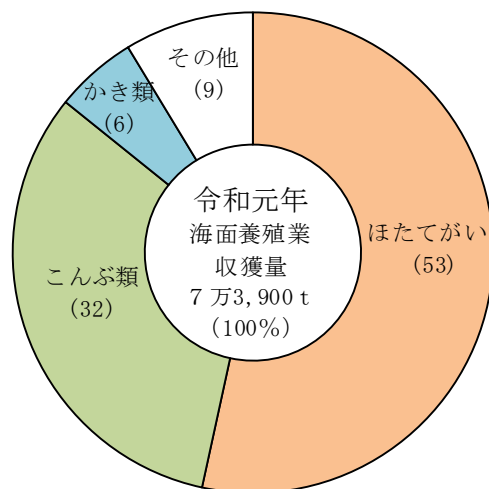
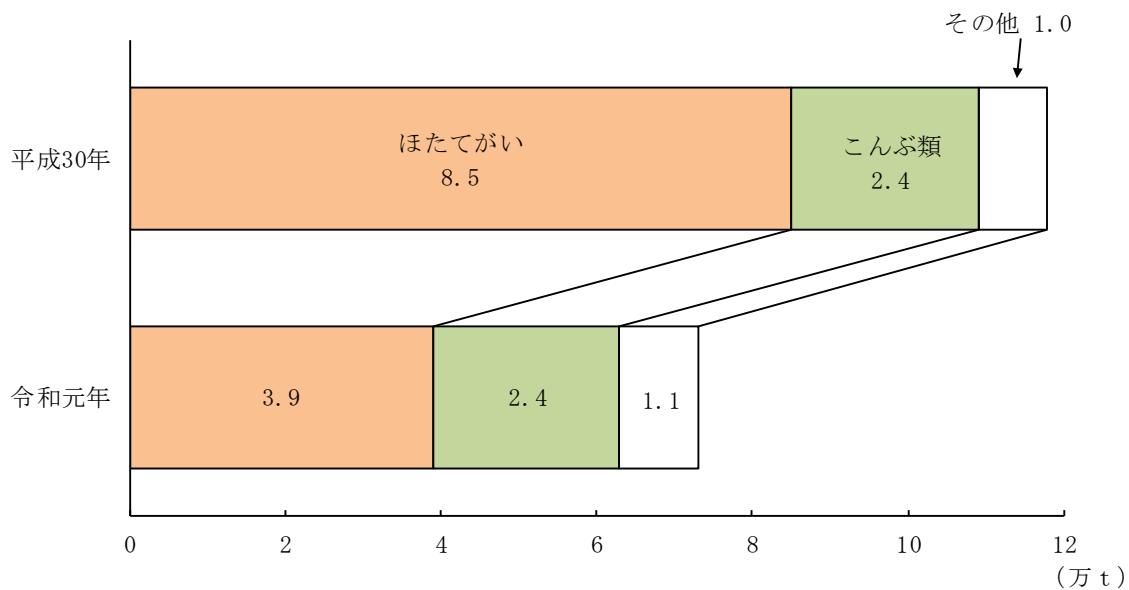


図5 海面養殖業魚種別収穫量



## 【統計表】

### 統計表一覧

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 1 海面漁業地域別漁業種別漁獲量  | ・・・6ページ  |
| 2 海面漁業地域別主要魚種別漁獲量 | ・・・8ページ  |
| 3 海面養殖業主要魚種別収獲量   | ・・・10ページ |

### 利用上の注意

- 1 統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。
  - 「0」： 単位に満たないもの (0.4 t → 0 t)
  - 「-」： 事実のないもの
  - 「x」： 個人又は法人その他団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
  - 「nc」： 計算不能
  - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
- 3 秘匿措置について  
統計調査結果について、調査対象数が2以下の場合には調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。  
なお、全体（計）からの差し引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

# 1 海面漁業地域別漁業種類別漁獲量

漁業種類	北海道			石狩			渡島		
	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %
海面漁業計 (1)	8,766	8,823	100.7	34	29	85.3	564	620	109.9
沖合底びき網 (2)	1,470	1,641	111.6	-	-	nc	-	-	nc
小型底びき網 (3)	3,143	3,493	111.1	1	1	100.0	6	6	100.0
さけ・ます流し網 (4)	8	7	87.5	-	-	nc	-	-	nc
かじき等流し網 (5)	19	16	84.2	-	-	nc	x	x	x
その他の刺網 (6)	859	898	104.5	21	17	81.0	148	169	114.2
さんま棒受網 (7)	610	190	31.1	-	-	nc	x	-	x
大型定置網 (8)	195	310	159.0	-	-	nc	186	291	156.5
さけ定置網 (9)	765	619	80.9	9	9	100.0	26	21	80.8
小型定置網 (10)	398	369	92.7	1	0	0.0	61	20	32.8
その他のはえ縄 (11)	93	126	135.5	x	0	x	7	7	100.0
沖合いか釣 (12)	22	10	45.5	-	-	nc	15	8	53.3
沿岸いか釣 (13)	83	60	72.3	x	-	x	33	29	87.9
その他の漁業 (14)	892	790	88.6	2	1	50.0	70	62	88.6
上記以外の漁業 (15)	209	293	140.2	x	0	x	8	x	x

# 1 海面漁業地域別漁業種類別漁獲量 (続き)

漁業種類	オホーツク			胆振			日高		
	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %
海面漁業計 (1)	2,235	2,460	110.1	333	331	99.4	524	476	90.8
沖合底びき網 (2)	466	571	122.5	x	x	x	x	x	x
小型底びき網 (3)	1,210	1,491	123.2	20	18	90.0	5	5	100.0
さけ・ます流し網 (4)	-	-	nc	x	x	x	0	x	x
かじき等流し網 (5)	-	-	nc	x	x	x	x	14	x
その他の刺網 (6)	12	10	83.3	121	140	115.7	128	95	74.2
さんま棒受網 (7)	x	-	x	x	x	x	31	14	45.2
大型定置網 (8)	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc
さけ定置網 (9)	332	201	60.5	33	28	84.8	113	85	75.2
小型定置網 (10)	167	147	88.0	18	4	22.2	3	2	66.7
その他のはえ縄 (11)	1	x	x	x	x	x	13	13	100.0
沖合いか釣 (12)	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc
沿岸いか釣 (13)	-	-	nc	x	3	x	6	3	50.0
その他の漁業 (14)	37	39	105.4	18	12	66.7	155	155	100.0
上記以外の漁業 (15)	x	x	x	-	-	nc	8	18	225.0

注：令和元年調査から、次の漁業種類分類の見直しを行った。  
「沖合底びき網1 そうびき」、「沖合底びき網2 そうびき」を統合し、「沖合底びき網」とした。  
「遠洋いか釣」、「近海いか釣」を統合し、「沖合いか釣」とした。  
「採貝・採藻」、「その他の漁業」を統合し、「その他の漁業」とした。

檜 山			後 志			留 萌			宗 谷			
平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	
100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%	
38	42	110.5	289	345	119.4	103	93	90.3	2,101	2,195	104.5	(1)
-	-	nc	103	106	102.9	-	-	nc	305	338	110.8	(2)
0	0	nc	1	1	100.0	19	22	115.8	1,475	1,535	104.1	(3)
-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	(4)
-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	(5)
2	3	150.0	71	90	126.8	18	23	127.8	81	115	142.0	(6)
-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	x	x	x	(7)
-	-	nc	9	19	211.1	-	-	nc	-	-	nc	(8)
2	3	150.0	23	38	165.2	11	10	90.9	48	50	104.2	(9)
5	7	140.0	27	41	151.9	4	5	125.0	12	23	191.7	(10)
3	x	x	7	5	71.4	6	5	83.3	6	7	116.7	(11)
-	-	nc	x	x	x	-	-	nc	-	-	nc	(12)
11	9	81.8	13	6	46.2	13	0	0.0	x	x	x	(13)
12	13	108.3	26	24	92.3	32	27	84.4	113	86	76.1	(14)
1	x	x	x	x	x	0	1	nc	49	x	x	(15)

十 勝			釧 路			根 室			
平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	
100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%	
128	117	91.4	928	841	90.6	1,490	1,275	85.6	(1)
x	x	x	394	393	99.7	-	-	nc	(2)
9	7	77.8	16	13	81.3	380	393	103.4	(3)
x	1	x	2	1	50.0	4	4	100.0	(4)
2	1	50.0	-	-	nc	x	x	x	(5)
4	6	150.0	32	34	106.3	222	197	88.7	(6)
18	4	22.2	126	44	34.9	399	115	28.8	(7)
-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	(8)
20	21	105.0	20	19	95.0	128	134	104.7	(9)
0	0	nc	10	3	30.0	88	117	133.0	(10)
3	x	x	20	27	135.0	26	51	196.2	(11)
-	-	nc	-	-	nc	x	x	x	(12)
1	2	200.0	x	x	x	4	6	150.0	(13)
15	14	93.3	227	206	90.7	185	152	82.2	(14)
7	12	171.4	x	x	x	50	104	208.0	(15)

## 2 海面漁業地域別主要魚種別漁獲量

魚種	北海道			石狩			渡島		
	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %	平成30年 100t	令和元年 100t	対前年比 %
海面漁業計 (1)	8,766	<b>8,823</b>	100.7	34	<b>29</b>	85.3	564	<b>620</b>	109.9
魚類計 (2)	4,522	<b>4,342</b>	96.0	29	<b>26</b>	89.7	415	<b>493</b>	118.8
まぐろ類 (3)	1	2	200.0	-	-	nc	1	2	200.0
かじき類 (4)	2	2	100.0	-	-	nc	x	0	x
かつお類 (5)	0	0	nc	0	-	nc	x	x	x
さめ類 (6)	20	<b>16</b>	80.0	-	0	nc	2	2	100.0
さけ・ます類 (7)	788	<b>547</b>	69.4	8	<b>8</b>	100.0	30	17	56.7
さけ類 (8)	677	<b>512</b>	75.6	8	<b>8</b>	100.0	26	15	57.7
にしん (9)	123	<b>148</b>	120.3	18	<b>13</b>	72.2	1	3	300.0
いわし類 (10)	210	<b>256</b>	121.9	0	-	nc	62	<b>29</b>	46.8
さば類 (11)	70	<b>190</b>	271.4	0	0	nc	45	<b>178</b>	395.6
さんま (12)	611	<b>191</b>	31.3	-	-	nc	x	0	x
ぶり類 (13)	83	<b>108</b>	130.1	1	0	0.0	51	<b>66</b>	129.4
ひらめ・かれい類 (14)	219	<b>246</b>	112.3	1	2	200.0	22	<b>19</b>	86.4
かれい類 (15)	211	<b>236</b>	111.8	1	1	100.0	20	<b>18</b>	90.0
たら類 (16)	1,610	<b>1,857</b>	115.3	0	0	nc	145	<b>140</b>	96.6
まだら (17)	372	<b>395</b>	106.2	0	0	nc	8	<b>9</b>	112.5
すけとうだら (18)	1,237	<b>1,461</b>	118.1	-	-	nc	137	<b>132</b>	96.4
ほっけ (19)	326	<b>328</b>	100.6	0	0	nc	38	<b>15</b>	39.5
いかなご (20)	97	<b>86</b>	88.7	-	-	nc	3	1	33.3
上記以外の魚類 (21)	363	<b>365</b>	100.6	2	2	100.0	x	x	x
えび類計 (22)	14	<b>16</b>	114.3	-	-	nc	3	1	33.3
かに類計 (23)	57	<b>54</b>	94.7	0	0	nc	7	9	128.6
貝類計 (24)	3,173	<b>3,519</b>	110.9	0	0	nc	11	11	100.0
ほたてがい (25)	3,036	<b>3,386</b>	111.5	-	-	nc	2	0	0.0
いか類計 (26)	149	<b>135</b>	90.6	0	0	nc	67	<b>53</b>	79.1
するめいか (27)	139	<b>125</b>	89.9	-	0	nc	63	<b>47</b>	74.6
たこ類 (28)	245	<b>234</b>	95.5	2	1	50.0	21	21	100.0
なまこ類 (29)	…	<b>23</b>	nc	…	0	nc	…	4	nc
うに類 (30)	46	<b>45</b>	97.8	0	0	nc	11	11	100.0
その他 (31)	29	<b>6</b>	20.7	2	0	0.0	4	1	25.0
海藻類計 (32)	532	<b>450</b>	84.6	0	0	nc	25	16	64.0
こんぶ類 (33)	528	<b>447</b>	84.7	0	0	nc	24	15	62.5

注：令和元年調査から、魚種分類の見直しを行ったことから、前年まで「その他」に含まれていた「なまこ類」を、本年は分離して表章した。



檜 山			後 志			留 萌			宗 谷			
平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	
100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%	
38	42	110.5	289	345	119.4	103	93	90.3	2,101	2,195	104.5	(1)
14	19	135.7	227	300	132.2	49	55	112.2	506	569	112.5	(2)
-	0	nc	0	0	nc	-	0	nc	-	0	nc	(3)
0	-	nc	x	x	x	-	-	nc	-	-	nc	(4)
-	-	nc	0	0	nc	0	-	nc	-	-	nc	(5)
0	0	nc	0	0	nc	-	0	nc	0	0	nc	(6)
2	4	200.0	9	14	155.6	10	10	100.0	57	60	105.3	(7)
2	3	150.0	8	13	162.5	10	10	100.0	54	58	107.4	(8)
0	0	nc	7	6	85.7	3	5	166.7	5	6	120.0	(9)
0	0	nc	0	0	nc	-	-	nc	0	-	nc	(10)
0	0	nc	3	0	0.0	0	0	nc	0	0	nc	(11)
-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	x	x	x	(12)
0	0	nc	7	16	228.6	0	0	nc	1	1	100.0	(13)
1	1	100.0	33	45	136.4	16	19	118.8	14	14	100.0	(14)
0	0	nc	29	41	141.4	14	17	121.4	14	14	100.0	(15)
3	6	200.0	52	75	144.2	5	9	180.0	144	237	164.6	(16)
1	2	200.0	24	38	158.3	5	8	160.0	58	86	148.3	(17)
2	4	200.0	28	37	132.1	1	1	100.0	86	151	175.6	(18)
4	6	150.0	87	105	120.7	1	2	200.0	134	115	85.8	(19)
0	0	nc	6	14	233.3	-	-	nc	79	68	86.1	(20)
2	2	100.0	x	x	x	12	10	83.3	x	x	x	(21)
0	0	nc	3	3	100.0	6	9	150.0	0	0	nc	(22)
5	5	100.0	7	7	100.0	0	0	nc	14	13	92.9	(23)
0	0	nc	1	1	100.0	1	1	100.0	1,469	1,529	104.1	(24)
-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc	1,467	1,527	104.1	(25)
11	9	81.8	24	10	41.7	13	0	0.0	1	4	400.0	(26)
10	9	90.0	23	10	43.5	13	0	0.0	x	4	x	(27)
3	3	100.0	21	16	76.2	29	22	75.9	56	42	75.0	(28)
...	1	nc	...	2	nc	...	2	nc	...	8	nc	(29)
3	4	133.3	4	5	125.0	2	2	100.0	11	9	81.8	(30)
1	0	0.0	2	0	0.0	3	0	0.0	8	0	0.0	(31)
0	0	nc	0	0	nc	0	0	nc	36	21	58.3	(32)
0	0	nc	0	0	nc	0	0	nc	35	21	60.0	(33)

## 2 海面漁業地域別主要魚種別漁獲量（続き）

魚種	オホーツク			胆振			日高		
	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比
	100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%
海面漁業計 (1)	2,235	2,460	110.1	333	331	99.4	524	476	90.8
魚類計 (2)	977	912	93.3	284	292	102.8	344	299	86.9
まぐろ類 (3)	-	-	nc	0	0	nc	0	0	nc
かじき類 (4)	-	0	nc	x	x	x	x	2	x
かつお類 (5)	-	0	nc	x	x	x	x	0	x
さめ類 (6)	0	0	nc	2	0	0.0	13	13	100.0
さけ・ます類 (7)	403	219	54.3	29	26	89.7	79	48	60.8
さけ類 (8)	321	205	63.9	27	23	85.2	72	46	63.9
にしん (9)	57	72	126.3	1	3	300.0	1	0	0.0
いわし類 (10)	0	0	nc	0	0	nc	8	18	225.0
さば類 (11)	1	0	0.0	1	1	100.0	15	7	46.7
さんま (12)	x	-	x	x	x	x	31	14	45.2
ぶり類 (13)	3	3	100.0	1	1	100.0	11	12	109.1
ひらめ・かれい類 (14)	22	16	72.7	27	26	96.3	22	31	140.9
かれい類 (15)	22	16	72.7	27	25	92.6	22	31	140.9
たら類 (16)	328	447	136.3	196	213	108.7	157	148	94.3
まだら (17)	90	52	57.8	7	8	114.3	17	13	76.5
すけとうだら (18)	238	395	166.0	189	205	108.5	140	135	96.4
ほっけ (19)	49	71	144.9	1	1	100.0	1	1	100.0
いかなご (20)	8	4	50.0	-	-	nc	-	-	nc
上記以外の魚類 (21)	x	80	x	10	11	110.0	6	6	100.0
えび類計 (22)	0	0	nc	0	0	nc	0	0	nc
かに類計 (23)	11	8	72.7	1	1	100.0	1	1	100.0
貝類計 (24)	1,210	1,491	123.2	28	22	78.6	21	23	109.5
ほたてがい (25)	1,204	1,486	123.4	2	1	50.0	-	-	nc
いか類計 (26)	1	10	1,000.0	10	7	70.0	6	3	50.0
するめいか (27)	1	10	1,000.0	10	7	70.0	6	3	50.0
たこ類 (28)	24	29	120.8	7	5	71.4	22	22	100.0
なまこ類 (29)	...	-	nc	...	1	nc	...	1	nc
うに類 (30)	3	2	66.7	1	2	200.0	1	1	100.0
その他 (31)	1	1	100.0	1	0	0.0	1	0	0.0
海藻類計 (32)	8	6	75.0	0	0	nc	128	126	98.4
こんぶ類 (33)	8	6	75.0	0	0	nc	127	125	98.4

## 3 海面養殖業主要魚種別収穫量

養殖種類	北海道		
	平成30年	令和元年	対前年比
	100t	100t	%
海面養殖業計	1,185	739	62.4
貝類計	890	435	48.9
ほたてがい	849	394	46.4
かき類	41	41	100.0
海藻類計	x	245	x
こんぶ類	244	239	98.0
上記以外の養殖	x	59	x

十 勝			釧 路			根 室			
平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	平成30年	令和元年	対前年比	
100t	100t	%	100t	100t	%	100t	100t	%	
128	117	91.4	928	841	90.6	1,490	1,275	85.6	(1)
103	92	89.3	676	602	89.1	898	682	75.9	(2)
-	0	nc	-	0	nc	0	0	nc	(3)
0	0	nc	-	-	nc	-	0	nc	(4)
-	0	nc	-	-	nc	-	-	nc	(5)
2	1	50.0	0	0	nc	1	0	0.0	(6)
21	21	100.0	18	15	83.3	123	103	83.7	(7)
20	20	100.0	13	12	92.3	115	98	85.2	(8)
0	0	nc	8	10	125.0	22	31	140.9	(9)
7	12	171.4	82	102	124.4	51	95	186.3	(10)
0	0	nc	2	2	100.0	2	1	50.0	(11)
18	4	22.2	126	44	34.9	399	115	28.8	(12)
0	0	nc	0	0	nc	7	8	114.3	(13)
2	3	150.0	15	15	100.0	46	55	119.6	(14)
2	3	150.0	15	15	100.0	46	55	119.6	(15)
43	44	102.3	375	378	100.8	160	159	99.4	(16)
10	18	180.0	60	67	111.7	94	95	101.1	(17)
33	26	78.8	316	311	98.4	67	64	95.5	(18)
0	0	nc	0	1	nc	11	11	100.0	(19)
-	-	nc	-	-	nc	0	-	nc	(20)
10	6	60.0	49	34	69.4	75	103	137.3	(21)
0	0	nc	0	0	nc	1	1	100.0	(22)
1	1	100.0	2	2	100.0	8	7	87.5	(23)
13	13	100.0	36	34	94.4	382	394	103.1	(24)
-	-	nc	0	0	nc	361	373	103.3	(25)
2	3	150.0	1	2	200.0	12	33	275.0	(26)
x	1	x	x	1	x	8	31	387.5	(27)
4	3	75.0	23	30	130.4	34	37	108.8	(28)
...	-	nc	...	0	nc	...	4	nc	(29)
0	0	nc	3	3	100.0	6	6	100.0	(30)
0	0	nc	0	0	nc	7	3	42.9	(31)
5	4	80.0	186	168	90.3	143	108	75.5	(32)
5	4	80.0	186	168	90.3	143	108	75.5	(33)

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

海面漁業生産統計調査は、我が国の海面漁業、海面養殖業の生産に関する実態を明らかにするとともに、水産基本計画における水産物の自給率目標を策定する際の資料、漁獲可能量（TAC）を設定する際の基礎資料等の水産行政に係る資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の対象

海面漁業生産統計調査（海面漁業漁獲統計調査及び海面養殖業収獲統計調査）は、原則として水揚機関を対象とし、水揚機関で把握できない場合に限り漁業経営体を対象とした。

また、外国の法人等に用船された漁船のうち漁獲物が内国貨物扱いされるものは対象とした。

### 3 調査期間

この調査における調査期間は、平成31年1月1日から令和元年12月31日までの1年間である。

なお、遠洋漁業等で年を越えて操業する場合は、港に入港した日の属する年に含めて調査を実施した。

### 4 調査方法

#### (1) 水揚機関

統計調査員が、次のいずれかの方法により、水揚機関を代表する者に対し調査を実施した。

ア 水揚機関用調査票又は電磁的記録媒体を配布して行う自計調査又はオンライン調査の方法

イ 面接調査の方法

ウ 水揚機関の事務所の電子計算機又は紙に出力された記録を閲覧し調査票に転記する他計調査の方法

#### (2) 漁業経営体

水揚機関で把握できない海面漁業経営体については、次のいずれかの方法により調査を実施した。

ア 統計調査員が調査対象に調査票等を送付して行う自計調査の方法又は面接調査の方法

イ 往復郵送調査又はオンライン調査の方法

#### (3) 漁獲成績報告書等を利用できる漁業種類を営む海面漁業経営体については、ア又はイの調査方法に代えて、漁獲成績報告書等による取りまとめを行った。

### 5 集計方法

水揚機関等の調査結果を積み上げ、北海道及び地域（振興局）別集計した。

なお、集計値の計上方法は、海面漁業経営体の所在地に計上した。

### 6 海面漁業統計調査における漁業種類及び魚種の見直し

令和元年（今回調査）より、以下のとおり調査分類の見直しを行った。

#### (1) 海面漁業漁獲統計調査

漁業種類を34分類から32分類に変更し、魚種の細分化、分離を行った。

## (2) 海面養殖業収獲統計調査

魚種の統合を行った。

詳細については、農林水産省大臣官房統計部で公表した、「令和元年漁業・養殖業生産統計」のP54及びP55参照

## 7 北海道の内訳における表章地域及び区域は、以下のとおりである。

表章地域	区 域	表章地域	区 域
石 狩	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、石狩市、石狩振興局管内の町村	オホーツク	北見市、網走市、紋別市、オホーツク総合振興局管内の町村
渡 島	函館市、北斗市、渡島総合振興局管内の町村	胆 振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、胆振総合振興局管内の町村
檜 山	檜山振興局管内の町村	日 高	日高振興局管内の町村
後 志	小樽市、後志総合振興局管内の町村	十 勝	帯広市、十勝総合振興局管内の町村
留 萌	留萌市、留萌振興局管内の町村	釧 路	釧路市、釧路総合振興局管内の町村
宗 谷	稚内市、宗谷総合振興局管内の町村	根 室	根室市、根室振興局管内の町村

## 8 用語の解説

(1) 「海面漁業」とは、海面(サロマ湖、能取湖、風蓮湖、温根沼及び厚岸湖を含む。)において水産動植物を採捕する事業をいう。

(2) 漁獲量の計上

「漁獲量」とは、漁労作業により得られた水産動植物の採捕時の原形重量をいい、自家用、販売活餌等を含む。また、漁獲量は水揚地のいかんを問わず、経営体の所在する地域別(属人)に計上した。

(3) 「海面養殖業」とは、海面又は陸上に設けられた施設において、海水を使用して水産動植物を集約的に育成し、収獲する事業をいい、その数量を「収獲量」という。

(4) 「生産量」とは、漁獲量と収獲量を合わせた数量をいう。

(5) 海面漁業の「漁業種類」とは、次のものがあるが、本調査結果では、このうち北海道で主として行われている下線を引いた漁業種類を表示し、それ以外は「上記以外の漁業」として一括してまとめて表示した。

遠洋底びき網漁業、以西底びき網漁業、沖合底びき網漁業、小型底びき網漁業、船びき網漁業、大中型まき網漁業、中・小型まき網漁業、さけ・ます流し網漁業、かじき等流し網漁業、その他の刺網漁業、さんま棒受網漁業、大型定置網漁業、さけ定置網漁業、小型定置網漁業、その他の網漁業、まぐろはえ縄漁業、その他のはえ縄漁業、かつお一本釣漁業、沖合いか釣漁業、沿岸いか釣漁業、ひき縄釣漁業、その他の釣漁業、小型捕鯨業、その他の漁業

## 9 その他

この資料(令和2年5月28日公表)の数値は概数値である。確定した詳細な数値は農林水産省ホームページに掲載(本年11月予定)するとともに、その後刊行する『北海道農林水産統計年報』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

## 【ホームページ掲載案内】

○ この統計調査結果は、北海道農政事務所ホームページ中の「農林水産統計公表資料(北海道)」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html> 】

- 全国の農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】  
この結果の分野別分類は「水産業」に分類しています。

**【関連リンク】**

水産庁ホームページ

【 <https://www.jfa.maff.go.jp/> 】

問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 北海道農政事務所 統計部

生産流通消費統計課

電 話 : (直通) 011-330-8820

◎農林水産統計全般について

農林水産省 北海道農政事務所 統計部

統計企画課

電 話 : (直通) 011-330-8818



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>